

金木商工会行動プラン

～テーマ：交流人口増と高齢化社会と労働力不足に対応した事業者支援～

(1) 商工会を取り巻く環境の現状と将来の姿

○自地域の総括的概要と現状課題

金木地区の基幹産業は農業である。また、日本さくら名所100選の芦野公園や文豪太宰治の生家で国重要文化財指定の斜陽館、津軽三味線発祥の地としてその歴史を綴った三味線会館などの観光名所がある。主な業種別動向は、卸・小売業はスーパーやドラッグストアの進出、飲食サービス業はコロナ禍を契機として廃業が進む一方、飲食店の創業が見られる。建設業は比較的堅調ではあるものの従業員の高齢化などにより労働力不足が顕著である。同様に経営者も高齢化が進行しており、事業の継続や雇用の維持には事業承継が課題となっている。

※ 金木地区商工業者数(基幹システムより)

	建設業		製造業		卸・小売業		宿泊・飲食		サービス業		その他		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
H20	101	25%	27	7%	126	31%	47	12%	87	22%	13	3%	401	100%
R6	81	29%	13	5%	77	28%	34	12%	63	23%	11	4%	279	100%

○人口動態

市町村合併時(平成17年)は10,797人であった金木地区の人口は令和6年には33%減の7,140人となっている。また、2045年には五所川原市全体の人口は約3万2千人まで減少し、65歳以上の高齢化率も50%を超える見込みとなっている。

時 期	市全体人口	金木地区人口	減少数(金木)	備考
平成17年10月期		10,797		市町村合併
平成27年10月期	57,403	8,679	1,233	
令和6年9月期	49,991	7,140	1,539	

○商工業者や小規模事業者の動向

過去20年で小規模事業者数は168件減少(年間減少率△1.9%)しており、令和15年には218件になると予想されている。

	H13	R3	対比増減	年率換算	R6	R15	R6比
小規模事業者	432	264	△168	△1.9%	259	218	△41

(2) 重点推進施策

○基本的な考え方(ビジョン)

本会は、金木地区の主な雇用の受け皿となっている企業の環境改善支援と会員ニーズにあったサービスの提供、観光資源を活用した交流人口の増加によって、地元中小・小規模事業者の持続的発展に貢献します。

○主な重点推進施策

- (1) 伴走型支援の強化による経営発達支援事業及び経営改善普及事業の実施
- (2) 事業承継による企業の持続的発展への支援
- (3) 労働力不足解消のための支援
- (4) 高齢化社会に対応した地域交通及びコミュニティの形成
- (5) 観光資源を活用した地域経済振興事業の実施

(3)重点推進施策を推進するための具体的な取り組み

○支援12項目の現状数値と数値目標の達成（※現在値は令和5年度、目標値は10年後の目標値）

支援項目	現在の 目標値	A 10 年後 の目標値	B現在の ニーズ	B－A	支援の 優先順位
①創業支援	5.1 件	5 件	0 件	△5 件	2
課題や対応案	創業相談はあるが貸店舗を見つけるのが難かしく、老朽化しており、設備投資が大きくなり、金木地区での創業は難しい。市の支援等があればと考える。				
②事業承継	5.4 件	5 件	0 件	△5 件	1
課題や対応案	高齢の事業主が多く、重点的に支援を実施し、事業者の減少をさせないことに注力する必要がある。				
③経営革新計画	2.8 件	3 件	0 件	△3 件	1
課題や対応案	経営革新を行っている事業所があるので、併せて計画申請の支援もできればと考える。				
④経営力向上計画	0.5 件	1 件	0 件	△1 件	1
課題や対応案	経営力の向上を目指している事業所もあるので、併せて計画申請の支援もしていければと考える。				
⑤持続化補助金	8.1 件	7 件	1 件	△6 件	1
課題や対応案	年間1、2件の申請はあるので、制度の周知徹底をはかり、申請件数を向上させたい。特に労働力不足解決策として、省力化を持続化補助金により支援する。				
⑥経営計画策定支援	14.5 件	13 件	0 件	△13 件	2
課題や対応案	創業・持続化補助金申請、融資等で経営計画書を作成していければ目標は達成できると感じる。				
⑦経営改善普及事業	1225 件	1031 件	748 件	△179 件	2
課題や対応案	記帳・決算等の従来通りの支援ニーズは高いので通常通りの業務遂行で目標値は達成できるものと考ええる。				
⑧マル経融資(件数)	6.7 件	6 件	8 件	2 件	2
課題や対応案	現状でも目標値を上回っており、需要は高く支援制度の周知と活用促進をするだけで十分支援実績は上がる。				
⑨マル経融資(総額)	34.167 千円	28,709 千円	38,200 千円	9,491 千円	2
課題や対応案	現状でも目標値を上回っており、需要は高く支援制度の周知と活用促進をするだけで十分支援実績は上がる。				
⑩記帳継続指導	54.1 件	46 件	44 件	△2 件	2
課題や対応案	記帳・決算・確定申告支援について当地域は支援ニーズが高いため、従来通りの業務遂行で目標値以上の支援は期待できる。				
⑪記帳機械化	24.4 件	21 件	30 件	9 件	2
課題や対応案	記帳・決算・確定申告支援について当地域は支援ニーズが高いため、従来通りの業務遂行で目標値以上の支援は期待できる。				
⑫労働保険	148.8 件	126 件	250 件	124 件	3
課題や対応案	現状で指導件数は目標値より多く、今まで通りの支援で目標は達成できる。				

○上記以外の具体的な取り組み

①ライドシェアの運行管理事業の実施

②桜まつり、うまいもんフェスタの実施や地域イベントへの積極的な協力

③HPやSNSを活用した企業の発信力を高める支援

(4)実施し得る体制(環境)

本会は、事務局長1名、経営指導員2名、補助員1名、記帳専任職員1名の計5名体制で運営しているが、五所川原市の商工会地区全体の商工業の総合的な改善発展を図るため、市浦商工会との広域連携体制の構築をより深化させ、経営改善普及事業や経営発達支援事業に取り組む必要がある。また、地域経済振興事業(桜まつり、うまいもんフェスタ、ライドシェア等)の実効性をより高めるため、専属で従事する臨時職員とその予算を確保する必要がある。

(5)体制(環境)づくり(時間軸)

- (1)経営改善普及事業や経営発達支援事業(支援12項目)の実績を向上させるため、金木・市浦商工会広域連携協議会の組織及び事業体制を強化し、両商工会一体となった運営体制を3年以内に確立させる。
- (2)地域経済振興事業の実効性を高めるには市当局の支援が欠かせないことから、市当局と両商工会による連携体制や財政など協議する協議会組織を早期に設置する。

(6)特記事項

○市との協調体制の確立と安定的な支援の継続及び財政基盤の確立

本会が小規模事業者支援と地域活性化に取り組み、その効果を十分発揮するには、拡大した事業や業務を安定的に遂行し得る体制強化が必要不可欠である。また、補助対象職員の専従体制確立には、地域経済振興事業に従事するための臨時職員の人件費等の予算確保が必要となる。

本会は財政シミュレーターの結果にもあるとおり財政基盤が脆弱であることから、安定的な財源の確立は最重要課題である。そのため、市から委託されている「桜まつり」や「うまいもんフェスタ」の事務局運営経費なども含め、受け皿となる商工会財政の安定に寄与するよう、市当局との懇談会を通して本会の実情について一層の理解を得つつ確実な予算確保(補助金、委託料)に取り組む必要がある。

金 木 商 工 会 財 政 シ ミ ュ レ ー タ ー

	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14	R 15	備考
収 入 計	13,168,991	12,994,305	12,822,938	12,654,827	12,489,910	12,328,127	12,169,418	12,013,724	11,860,988	11,711,154	11,564,167	
支 出 計	12,242,671	12,242,671	12,242,671	12,242,671	12,242,671	12,242,671	12,242,671	12,242,671	12,242,671	12,242,671	12,242,671	
単年度収支差額	926,320	751,634	580,267	412,156	247,239	85,456	△ 73,253	△ 228,947	△ 381,683	△ 531,517	△ 678,504	単年度の収支差額
収支差額累計	926,320	1,677,954	2,258,221	2,670,377	2,917,616	3,003,072	2,929,819	2,700,872	2,319,189	1,787,672	1,109,168	10年間の剰余金累計